

平成 27 年度ミッション・マネージメント部会 第 1 回研究会  
「観光とミュージアム」

1. 開催の趣旨

当学会は、急激に多様化する社会状況に対応する「ミュージアム・マネージメントの新しい在り方」について、「多様化する社会とミュージアム」を 2015 年度から 3 年間のメインテーマに掲げております。2015 年度は「組織のマネージメント」をサブテーマとして研究大会を開催しました。

ミッション・マネージメント部会においても、人々の多様性とミュージアムを取り巻く社会の多様性、さらにはミュージアムそのものの多様な機能に焦点をあて、多様化する社会におけるミュージアムの新たな可能性について考察していくこととします。

皆さま、ふるってご参加ください。

2. 第 1 回研究会テーマ：「観光とミュージアム」

近年、人々の多種多様な興味関心に応えるべく、多様な観光の形態が見られるようになりました。そのような状況の中、世界遺産やジオパーク、エコツーリズムといった文脈でミュージアムが脚光を浴びつつあります。今回の研究会は、ミュージアムが観光資源として社会に貢献できるのか、観光資源を活用してミュージアムの機能が充実できるかなどを探っていきます。

3. 主催：日本ミュージアム・マネージメント学会ミッション・マネージメント部会

4. 開催日時・場所

日時：平成 27 年 10 月 4 日（日）13:30～16:30（参加費無料）

場所：神奈川県立生命の星・地球博物館 1 階講義室西側（神奈川県小田原市入生田 499）

5. スケジュール（変更することがありますのでご了承ください。）

発表テーマ	発表者・解説者	発表時間
会場・受付		13:15～13:30
開催の趣旨	黒岩 啓子 (Learning Innovation Network 代表)	13:30～13:45
参加者自己紹介		13:45～14:15
ジオパークにおける拠点施設としての博物館の活動と課題 －神奈川県立生命の星・地球博物館を例として－	平田 大二 (神奈川県立生命の星・地球博物館館長)	14:15～14:45
観光まちづくりに災害遺構を活かすためのジオパークと大学や博物館との連携のあり方 －島原半島ジオパーク推進連絡協議会と洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会を事例として－	石川 宏之 (静岡大学イノベーション社会連携推進機構 准教授)	14:45～15:15
休憩		15:15～15:20
討議・まとめ	進行：江水 是仁（東海大学専任講師）	15:20～16:30

6. お申し込み先（定員 15 名：申し込み先着順）  
（参加者確定のため10月1日までにお申し込み下さい）  
日本ミュージアム・マネジメント学会事務局  
〒136-0082 東京都江東区新木場2-2-1  
電話・ファックス 03-3521-2932  
URL/ <http://www.jmma-net.jp/index.html>  
e-mail/ [kanri@jmma-net.jp](mailto:kanri@jmma-net.jp)

お申込フォーム  
希望研究会名：  
お名前：  
御所属：  
御連絡先 (TEL 又は e-mail 等)

## 7. 開催場所



箱根登山鉄道 入生田駅 徒歩3分

### 東京から

新幹線(約40分)→小田原駅 箱根登山鉄道  
(約10分)→入生田駅

### 横浜から

JR 東海道線(約1時間)→小田原駅 箱根登山鉄道  
(約10分)→入生田駅

### 新宿から

小田急線(約1時間30分)→小田原駅 箱根登山鉄道  
(約10分)→入生田駅

## 8. ミッション・マネジメント部会 平成27年度研究会 開催予定

### (1) 第1回研究会

テーマ：観光とミュージアム

概要：近年、人々の多種多様な興味関心に応えるべく、多様な観光の形態が見られるようになった。そのような状況の中、世界遺産やジオパーク、エコツーリズムといった文脈でミュージアムが脚光を浴びつつあることから、ミュージアムが観光資源として社会に貢献できるのか、観光資源を活用してミュージアムの機能が充実できるかなどを探っていく。

日時：平成27年10月4日（日）13:30～16:30

会場：神奈川県立生命の星・地球博物館

### (2) 第2回研究会（近畿支部会と共催）

テーマ：ミュージアムと著作権（仮）

概要：職務著作権についての職員に対する意識付けがなされているミュージアムは少なく、ミュージアムは情報化社会が直面している課題と十分に向き合っていない状況であることから、ミュージアムと著作権について議論する。

日時：平成28年2月予定

会場：未定（大阪）